



「暑さに負けず、心の緩みにも負けず！」

校長 福井博志

99人で令和3年度をスタートした谷川小学校。昨年の1学期は臨時休業があったり、分散登校があったり、運動会が中止になるなど、学校生活に大きな変動がありました。今年度に入り、5月中旬に緊急事態宣言が出されましたが、休業することなく、形を変えながらですが、一昨年までの日常に戻りつつあります。

思い返すと4月、「1年生を迎える会」を行うことができました。11名の1年生のために、各学年が様々な出し物で歓迎しました。3密を避けながら、新しい形で行いました。

5月、土曜授業では「R228クリーン作戦」を行うことができました。今までは上磯中学校に通う本校の卒業生と一緒に行っていましたが、今年は本校児童のみで縦割り班で活動をしました。校区内のゴミ拾いは環境問題について考える良い機会となりました。同じ5月、前浜学習（アサリ採り体験）を行うことができました。市役所や漁業協同組合のご協力をいただき、3年ぶりの実施となりました。新型コロナが流行する前の年は、道路の護岸が崩れたために中止となった行事です。ふるさと学習でもあり、北斗市の学校、谷川小学校だからこそ体験できる学習として、海の幸を知る貴重な体験となりました。

6月、2年ぶりで開催した運動会。前回の学校だよりで紹介しましたので、詳細は述べませんが、子どもたちのがんばる姿がグラウンドに弾けました。応援の方々にも感謝でした。

7月は「いかだ下り」。2004年から始まったこの行事も、谷川小学校だからこそです。ペットボトルは環境問題として、今、話題になっています。そのペットボトルでいかだを作り、川を下ります。普段は立ち入ることができない流溪川に入り、5・6年生が下級生を乗せて、何回も往復をしながら、みんなで川の冷たさをはじめ、自然を感じる行事となりました。今年のいかだが例年以上に強固なものになったのは、時間を惜しまずに補強作業をした教職員の心意気の表れでした。

新型コロナの感染はまだまだ終息する様子が見えません。7月中旬を過ぎ、30度近い日が多いです。8月も暑い日が続くでしょう。熱中症にも気をつけなければなりません。

人と十分に距離がとれる時、会話をしない時はマスクを外して、暑さ対策をしましょう。だからと言って、気持ちを緩めてはいけません。

道南地方であまり感染者が多く出ていないためか、スーパーやコンビニに入る時に、手指消毒をしている人が激減しているように私は感じます。夏休みに入りますが、新型コロナの感染が終息に向かうよう、子どもたちも大人も、もう一度気持ちを緩めることなく、過ごしたいものです。

手洗い、消毒、うがい、体調が思わしくない時は外出を控える

みんなが事故なく、元気で2学期を迎えることができるように祈っています。

8月



11	水	学校閉庁日（～13日）
23	月	始業式 特別4時間 給食なし
24	火	特別4時間 全校朝会
26	木	特別4時間
27	金	クラブ③
29	日	ラジオ体操コンクール
30	月	特別4時間
31	火	思春期教室（5・6年）

地域の皆様に感謝します

鈴木中川建設様にマラソンコースの修繕を、早川商事様に運動会用の竹をいただきました。ありがとうございました。



鈴木中川建設様



早川商事様

租税教室

6年生の社会科で、講師の先生を招き、税について学習しました。



命の授業

消防の方々を招き、命の大切さを学んだり、救命救急法を体験したりしました。命について考えるよい機会になりました。



食育の授業

栄養教諭による食育の授業を各学年で行い、栄養や健康について考えました。



いかだ下り大作戦

谷川小ならではの行事です。縦割り班で、いかだを作り、流溪川でいかだ下りを行いました。高学年が中心となり、お世話をして、楽しい行事になりました。

